

令和元年度 第1回 学校運営協議会 議事録

日時 令和元年 6月11日(水) 14:15～16:00

場所 本校会議室

委員の出席状況：田島委員 欠席

1. 開会 進行：教頭

2. 校長挨拶

運営協議会のおかげで新たな活動が増えた（町の広報に本校のコーナー連載）

3. 委員自己紹介

4. 議事

(1) 会長および副会長専任

事務局の提案は以下のとおり。

会 長 若園 雄志郎 委員

副会長 吉成 伸也 委員

以上の提案のとおり、全会一致で承認された。

以降、議事を会長が進める。

(2) 学校運営に関する基本的な方針の承認

資料1 校長より説明

昨年度第5回のグランドデザインに基づき、承認いただく

資料2 昨年度の入試状況について

昨年度に比べ、志望者は増えたが、定員を満たさず

地区全体としては10年間で約200名減

本校1年おきに増減を繰り返す

→この地区にとって魅力的な学校にしなければならない

資料1

I 2 実践目標 変更

3 昨年の運営協議会からの提案で新たに追加

II 3 7割就職 3割進学という本校の生徒に応じた進路指導

III ・PDCA サイクルによる見直しに力を入れる

・那珂川学の充実

- ・ICTの活用や学科横断・教科横断的な学習、観点別評価の確立に向けた取り組みの重点化
- ・多様な生徒の存在～一人ひとりが居やすい学校づくり→チーム馬頭
- ・いじめが疑われるような場合は早めの対応を

(質疑応答)

若園会長 「めざす教師像について」を入れる理由

- ・昨年度の運営協議会からの提案で追加

大金市委員 いじめでやめた生徒の数について

- ・昨年は19件のいじめ認知、いじめで辞めた生徒はいない
- アンケートの実施回数

- ・毎月実施し、担任が速やかに対応している

小川委員 3-3「チーム馬頭」という言葉を広めたい

- ・前校長が提案した言葉で現在も使わせてもらっている
- 高校と中学校との交流～部活等で交流

大金浩委員・馬頭中が吹奏楽で連携した。アーチェリーなども行っていた。

大金浩委員 キャリア教育の観点が抜けていないか

- ・来年から入れていきたい

若園会長 生徒が中学校で部活動指導する等で交流するのもいいのではないか

- ・部活動については現在縮小傾向であるとともに、土日は大会等で日程が合わないことが多い。しかし、水産科が小中学校に水槽を提供するという新たな試みを行っている。

岡委員 基礎的な学力の定着について→企業内での数学の学習で卒業生が「習っていない問題が出ている」と訴えている→他校と教科書が異なる？

- ・他校とは教科書が異なる～基礎的な内容重視した学習内容
入学してくる生徒の学力に合ったものを選んでいる。
- ・習熟度で生徒の学力に合わせた少しレベルの高い問題をやらせたりしている。

大金市委員 片方のレベルをもっと上げることができるのか

- ・格差が広がることで、下のクラスの子のモチベーションが下がるおそれはある。他校でそのような事例がある。

鳥山高校のような就職・進学のようなクラス分けもいいのではないか。

- ・就職7割進学3割で、2クラスしかいないため、それが困難である。
また水産科は実習もあるので一緒というのは難しい。

もっと細かく分けることができるとよい

- ・もっと仕組み（少人数学級など）が柔軟になればよいのだが

- 若園会長 ICTの活用を
- ・現在情報科とともに新たな学習の取り組みを考えている。
- キーボードに不慣れな生徒が多い。
- ・情報以外の科目「課題研究」等でPCに触れる機会を設けている
- 経済的にPCに触れられない生徒への対応
- ・タブレットが足りない
- 谷田部委員 上司とコミュニケーションがとれない子どもが多い。高校で指導できないか。
- ・夏休みに履歴書指導等、国語でも懸命に指導を行っているがなかなか身につかない。
- 小川委員 子どもはタブレットを使いこなせる→そのような中でコミュニケーションを育てるのは難しい。高校だけでは難しい。
- ・インターンシップ（全員参加）に行くと、効果が出ているようだ。
- 町の様々なイベントに参加（有志）させていただいているところから、コミュニケーション能力が少しずつ身についているようだ。さらなる社会参加を学校としても考えていきたい。
- 吉成副会長 先生方が生徒の実態をどのように把握しているのかというデータがあるといいのではないか

15：03～ 資料1のとおり、承認いただいた

（3）学校の魅力化、特色化について

① 重点施策の実現に向けて

資料3、資料4

資料4の1の（2）、2を踏まえた上での資料4

1. 町と学校の目標共有する試みを
2. クラス減少の中、一体化をしなければ→すべての教員がすべての生徒を
3. 生徒が自分で考えて授業を受ける＝本校のアクティブラーニング
4. 実技の評価→パフォーマンス評価の在り方について
5. チーム馬頭の推進
6. 進路は団体戦～全職員で対応
7. 施設の老朽化～危険箇所の改修を進める

(質疑応答)

大金委員

地域と学校の目標の共有の仕方について

- ・町が学校に求めること…地域に若い力を残す。生徒が町の課題を意識し、課題解決への取り組みから、町への提案を行う。なかかわフォーの提供

水産科で手長エビの生産開始

観点評価が魅力化・特色化にどうつながるか

- ・生徒一人一人を丁寧に見ることができるのであれば、生徒の学校への魅力度が高まるのではないか。

齋藤委員

那珂川学の発表が一回だけではもったいない

ハザードマップなどは地域の住民にとっても重要である

発表会に来られなかった方にも研究成果を発表できる機会があるとよい

那珂川学の内容をグーグルマップのマイマップというアプリに表示できるようにし、那珂川町を紹介できるようにしていくといいのでは。

私も協力する。

- ・水産科のメニューをクックパッドに公開したりしている
- ・小川中学にも発表会でPR できれば

若園会長

遠隔教育の相手は？

- ・相手がまだ見つかっていない。金銭的めどがつかず。
- ・慶応大の遠隔～長崎では県が提供

那珂川学のPRをもっと～学校のHPではあまり目立たず

- ・現在、各学年でアップロードしているため、那珂川学としてのくくがない
- ・今後、那珂川学でまとめたサイトを作りたい。

田中教諭

水産科・普通科との連携の取り組み

農地水組合のご協力から、小型貝類の調査を夏休みに実施（有志）

吉成副会長

町にしてもらいたいことはないか

- ・那珂川学でかなり支援をいただいている。いろいろな面でお願いしたいことはある。地域連携コーディネーター（国の予算）を雇っていただけないか。（申請は町から）

小川委員

重点施策をどのように具体的に実現していくか

吉成副会長

来年度の志望者をどのように増やすかという面に絞ってもよいのでは

若園会長

下宿について

- ・寮はやはり厳しい。下宿も厳しい。現在富山の1軒で4名。下宿バンクができれば。

- ・他県からの問い合わせも数件ある。1 軒提供事案があったが、家族からの反対で失敗。下宿は一人7万（3食付き、内2万は町補助）
- 小川委員 食事を3食作るのが大変という話を聞いている
- ・あと2，3軒下宿があれば、もっとPRできるのだが
- 吉成副会長 普通科の全国展開はどうか？
- ・もし可能ならやりたい（県立高校なので県民優先）
- そうなら、魅力的な教育課程（上級学校に行ける）が必要
- ・まずは下宿を確保しないと
- ～日光明峰…運営協議会で民間による寮整備（28人）
- 中学生は9月には進路決定
- 若園会長 寮・下宿についてのワーキンググループを作ることは可能か
- ・可能である。よろしければお願いしたい。
- 大金市委員 町議会からもお願いしているが、町の事業者や町民からはそういう案はなかった
- 小川委員 受け入れるための条件を整えないと受け入れてもらえない。責任問題もある。
- 大金市委員 ボランティアでは成立しない。肉体的にもきつい。
- 岡委員 大家の責任を問われるのは厳しい。

② その他の魅力化、特色化策について

委員の方から

- 大金浩委員 茨城の道の駅に高校のポスター～カッコいいキャッチフレーズ
- アナログ的なものも活用を
- ・県の許可なしで掲示してもいいか～事業所の許可がとれれば

（４） 今後のスケジュールについて

次回 8・9月 議会との重なりを考慮していただきたい

- ・ワーキンググループをしてからだともう少し後（10月）の実施となる

（５） その他

県立高校魅力化フォーラムについて（県教委総務課 青柳主幹）

5. 閉会

事務連絡

魅力化フォーラムの出欠については今週中とりまとめ